

## 陸前高田発

### 「営農拠点施設」完成

陸前高田市の農業の復興を担う新たな拠点施設が米崎町に完成しました。関係施設を集約し、総合営農指導センター、果樹野菜集出荷センター



ライセンサーの3つの施設が建てられ、農業復興の象徴と位置づけています。果樹野菜集出荷センターにはリンゴの選別機が導入され、光センサーで色・糖度・重さを瞬時に量り、等級ごとに仕分けることができます。特産のリンゴをはじめ、品質の統一が可能となる施設の完成は、農産物のブランド化にもつながると期待されています。(10/30 ニュースエコー)

## 陸前高田発

### 「国営追悼施設」建設

奇跡の一本松を望む津波浸水地に震災犠牲者の冥福や復興を祈願する国営の追悼施設が設置されます。陸前高田市のほか、宮城県と福島県の復興祈念公園内に追悼施設が設置されます。陸前高田市では国や県と合同で一本松がある海岸線沿い129ヘクタールに高田松原津波復興祈念公園を建設する予定ですが、国営追悼施設はこの復興祈念公園内に設置される見通しです。来年度から基本設計に入り、完成は東日本大震災から10年となる2021年3月を目指します。(10/31 ニュースエコー)



## 大槌発

### 復活の薪まつり



津波被害を受けた山から切り出した薪を活用して、ふるさとの森を大切にすることを育もうと大槌町で「復活の薪まつり」が行われました。豊かな自然を取り戻そうと活動している大槌町のNPO法人「吉里吉里国」が開催したもので、会場には津波の被害を受けた森から切り出した薪を割る体験コーナーが設けられました。挑戦した人たちは重い斧を持ち、慣れない薪割りを体験していました。(11/3 ニュースエコー)

## 釜石発

### 「津波防災の日」



11月5日は東日本大震災を受けて国が定めた「津波防災の日」。釜石港では大津波を想定して船の航路を確保する実動訓練が行われました。訓練は国交省東北地方整備局が初めて行ったもので、県と市、そして海上保安庁も参加しました。きょう11月5日は江戸時代に大きな津波被害をもたらした「安政南海地震」の発生日で、東日本大震災を受けて2011年6月に「津波防災の日」と定められました。津波の発生を想定し、船の航路を確保するため釜石港の海底に沈んだ障害物を撤去する訓練などが行われました。(11/5 ニュースエコー)



## 陸前高田発

### さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)



今週は陸前高田災害FMの阿部裕美さんが、昨年設立された『北限のゆず研究会』の会長佐々木隆志さんからお話を伺いました。陸前高田は北限のゆずの産地と言われていますが、県内の酒造会社からゆずを使ったお酒を造りたいという話があり、それがきっかけで『北限のゆず研究会』が立ち上がりました。今年もゆずの収穫期を迎えることから、『ゆず狩りサポーター』を募集し、週末ごとに市内をまわってゆず狩りを行うという事です。佐々木さんは「県内の方々に周知してたくさんの方に参加していただければ」と話していました。(11/5)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中  
詳細はIBC公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>  
IBC復興支援室事務局 019-623-3122